



豊の国京築かるた紀行

綱敷天満宮（築上町）

綱を敷き 道真助けた浜の宮

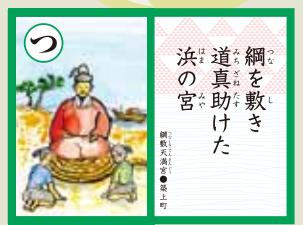
学問の神様、菅原道真ゆかりの天満宮。地元では「浜の宮」の名で親しまれています。『昌泰4年（901）に左遷された菅原道真は、大宰府に赴く途中、嵐にあい、たどり着いたのがこの浜。地元民は、漁船の綱をくり敷き、お迎えした。休養の後、道真は大宰府へ。天歴9年（955）に神託があり、国府の命によって社壇が造営され、古事により「綱敷天満宮」と称された。寛永14年（1637）には、豊前国主小笠原忠真並びに豊後国主木下延俊の両公により、現在の社殿が造営され、今日に至る。また、この地は、豊後に通じる街

道筋であつたため幾多の知名人が参拝に訪れており、元禄7年（1694）貝原益軒の「豊国紀行」の5月6日の記録には、「椎田の四丁ばかり東の浜に松原あり、其内に綱敷天満宮の社有。海辺佳景なり…」とまた、芭蕉の門人、各務支考の旅日記「西華坊梟日記」には「昼がほよ 今宵はこゝにはまの宮」の句がある」という由緒があります。

小倉藩主小笠原氏は代々この天満宮を厚く崇敬し、藩主自ら度々参拝したと伝えられます。梅の名所として有名で、約千本の梅が最盛の頃、「しいだ梅まつり」で賑わいます。



【住】築上町大字高塚794-2
●問い合わせ 築上町商工課 ☎0930-52-0001
（レポーター mulberry/まほろば）



応援団ひろば 読者プレゼント

「京築神楽定期公演」鑑賞無料ペアご招待券

3月、6月に開催される「京築神楽定期公演」を無料で鑑賞いただける特別ご招待券（通常：入場料1,000円）を、応募者の中からペアで3組の方にプレゼント。ふるってご応募ください。

【対象となる公演（下記のいずれか一つ）】

・京築神楽チャリティ公演
開催日：平成29年3月12日（日）
会場：げんきの杜（築上郡上毛町八ツ並143-1）

・京築神楽定期公演
開催日：平成29年6月10日（土）
会場：京築神楽伝統文化会館（豊前市八屋1776-2）

プレゼントの応募方法 ― 〈応募締め切り/平成29年1月31日（火）必着〉

官製ハガキに郵便番号・住所・氏名・年齢・連絡先（電話番号）をご記入の上、ご応募ください。当選者の発表は発送をもってかえさせていただきます。（2月10日までに発送予定）

●応募先/京築連帯アメニティ都市圏推進会議事務局（福岡県企画地域振興部広域地域振興課内）
「京築神楽定期公演 鑑賞 無料ペアご招待券」プレゼント係
〒812-8577 福岡市博多区東公園7-7

豊前市

にじいろ甘酒

四季を通して「にじいろ」の美味しさをお届けします



浦野 敦子さん

江戸末期から続く老舗の醤油屋6代目の若女将が開発した「にじいろ甘酒」シリーズ。味噌作り教室でふるまった甘酒をおいしいと褒められ「もっとお客さんの喜ぶ顔や驚く顔が見たい」と米糰に地元産の旬のフルーツや野菜を合わせた、彩り豊かな甘酒作りを思い立ったとか。試作を重ね、10種類の甘酒が完成。味はもちろん、「にじいろ甘酒」の商品名とパッケージも評判で、地域内外でたちまち人気商品に。季節限定品は6種類、冬場は紫いも甘酒と博多あまおう甘酒が喜ばれるそうです。「田舎の小さな蔵から京築の人たちとつながり、発信していくことが大事。福岡県産の素材から生まれる美味しさを伝えたい。課題はたくさんあるが楽しみも大きい」若女将の声が弾みます。



●問い合わせ 浦野醤油醸造元
【住】豊前市八屋1341-1 【☎】0979-83-2326
（レポーター/ヒメジャガ）

荏田町

いくり百本ジャム

修験の山で育った天空のルビー！ポリフェノールたっぷり！



はじめは百本のいくり（すももの一種）の木。有志で等覚寺地区の地域づくりに取り組む団体「等覚寺応援団」団長秋山さんが10年ほど前、知人からもらい受けたいくりを耕作放棄地に定植。下刈りや剪定を続けて、生育・結実しました。5年前から、応援団婦人部がジャムづくりに取り組み、特産品「いくり百本ジャム」が誕生。今では、4月はいくりの花見、8月には実を収穫してのジャムづくりと楽しみが倍増しています。いくりがつないだ里山の風景は、荏田町の新たな魅力となり、輝き始めています。赤い甘酸っぱいジャムはお菓子にも料理にも使える優れもの。等覚寺応援団製と荏田町観光協会製の2種類があり、いずれも地域でのイベントで販売。※等覚寺応援団製は等覚寺地区の限定販売



●問い合わせ 荏田町観光協会
【住】荏田町京町1-11-1-2F 【☎】093-434-5560
（レポーター/ノウサギ）

みやこ町

柳瀬ごぼう

柔らかで風味豊かな絶品ごぼう！つくってます。



田邊 彰さん

色白でその丈の短さに、思わず「これ、ごぼう?！」と言ってしまうほど。柔らかく、ごぼう独特の香りや風味も良く、いろいろな料理で味わえます。みやこ町犀川柳瀬地区「柳瀬営農組合」45軒の農家を中心に生産。今春から地域おこし協力隊の若者2名が加わり、大きな戦力になっています。除草剤不使用・減農薬（県指定農薬）により、ふくおかエコ農産物の認証を受け、安心・安全な作物として地元直売所をはじめ、県内外で「博多新ごぼう」の名前でも販売されています。婦人部員がつくる、ごぼうスティック（ごぼうの唐揚げ）は幻の逸品。店頭にも並ぶとすぐに品切れ。町内イベントでも即完売の超人気品です。



●問い合わせ 柳瀬営農組合
【住】みやこ町犀川柳瀬字義若258-1 【☎】090-1367-2043（田邊）
（レポーター/とらバアバ）

上毛町

野草 たまてばこランチ

足元の野草がお宝に



廃校を活用し、5年目を迎えた西友枝体験交流センター「ゆいきらら」。いま特に注目を集めているのが「野草たまてばこランチ」です。奇数月に開店している田舎の居酒屋が好評で、偶数月にも定番メニューをと始めたのが、ふれあい体験と「野草たまてばこランチ」です。「タダものだけどタダものではない」野草には里山のエネルギーがたくさん詰まっています。四季折々摘みとった、ヨモギ・スミレ・タンポポなどの野草てんぷらに棚田の美味しいお米、鹿の竜田揚げも添えられ、地元の食材をふんだんに使った田舎でしか味わえない料理をゆいきららシスターズの皆さんが腕を振って調理してくれます。かわい田舎の学校で美味しいランチをご賞味ください。



●問い合わせ 西友枝体験交流センターゆいきらら
【住】上毛町西友枝1520 【☎】0979-72-3939 要予約 [休]火
（レポーター/カジカガエル）

吉富町

アンドカフェ

できたてにこだわった幸せスイーツ♥



野上 彩さん

吉富町のチャレンジショップ事業（創業支援&駅前）にぎわいづくりの店舗開設）に採用され、平成28年春オープン。「できたてばかりのその瞬間のケーキを食べてもらいたい。フルーツや地卵など、なるべく地元で食材を揃え、その時期のその地域の恵みを味わってもらいたい」とできたてにこだわる店主の野上さん。旬の素材を使った日替わりケーキ。注文のケーキは来店時間に合わせてつくりあげます。お祖母様お手製のお菓子に育まれ、菓子づくりの世界へ。地域の応援を力に本格的な自店舗開店へ向けて少しずつ準備も進めています。駅前に漂う甘い香りが、地域に小さなシアワセを広げています。



●問い合わせ アンドカフェ
【住】吉富町広津364-2（吉富駅前） 【☎】0979-31-0374
（レポーター/豆しば）

築上町

シャンシャン米・環

いのちを大地にめぐらせる循環型農業



築上町は平成7年度から、一部町内で収集したし尿や浄化槽汚泥に酵素を加え、好気性高温発酵処理による衛生的な液肥を作り、今まで処分していたものを有効利用する循環型農業に取り組んでいます。液肥を利用し、主に県産米「夢つくし」を基にした「シャンシャン米・環（たまき）」を生産。その約60%が、給食を自校でつくる町内の小中学校で使われ、食育と環境教育の実践を推進しています。その他、なたね、麦などの栽培にも肥料として利用されていますが、さらに循環の輪を広げるため、施設を整え、液肥の製造量増加を予定しているそうです。持続可能な社会を先取りするお米「環」はメタセの杜で購入できます。



●問い合わせ 築上町産業課
【住】築上町大字椎田891-2 【☎】0930-56-0300
（レポーター/mulberry）